



品川区

HPアドレス

<http://www.city.shinagawa.tokyo.jp/>

面積	22.72km ²
世帯数	201,037世帯
人口	366,539人 (うち外国人)10,721人
予算	1,326億円
職員数	2,522人

※平成24年8月1日現在

※平成24年度一般会計当初予算



スクエア荏原(荏原平塚総合区民会館)

平成25年4月に、文化・スポーツ活動の拠点として、劇場型ホール、スタジオ、アリーナ等がオープン。また、幼保一体施設との複合施設であるとともに、隣接する公園と一体整備をしました。



品川区就業センター

ハローワークによる職業相談・職業紹介と区の就業支援施策が一体となり、区民の就労支援と区内企業の雇用促進を行っています。



保護者による一日保育士体験
自分の子どものクラスで保育士体験をし、自宅とは違うわが子の姿を発見する貴重な機会です。

歴史・見所・名所

品川区は古い歴史を持つまちです。「荏原」の地名は万葉集に、「大井」は延喜式に見られる由緒ある地名です。また、「品川」は中世には武蔵国の表玄関・品川湊として、江戸時代には東海道の第一の宿として交易の拠点となり、明治時代では官営硝子製造所が設立されるなど、近代産業の発祥の地として発展してきました。

また、エドワード・モース博士により発見され考古学発祥の地として全国に知られる大森貝塚をはじめ、今なお江戸の面影を残す旧東海道の町並みや大名屋敷跡の戸越公園や池田山公園などがあります。

その一方で、再開発が進む大崎が副都心として生まれ変わり、天王洲周辺には水辺を求めて多くの人が集まります。武蔵小山や中延、戸越には全国でも有数の商店街があり、にぎわいを見せています。

また、区内には多彩な文化芸術施設や区民の活動・発表の場が充実しており、平成22(2010)年度からは品川区民芸術祭を開催し、質の高い「文化芸術」に触れ親しむ機会を増やし、区民の文化芸術活動のさらなる発展につとめています。

概要

品川区は、東京都の南東部に位置し、東京湾に面する臨海部と山の手に連なる台地から形成され、面積は22.72km²で、36万人を超える人が生活しています。

国際都市東京の表玄関に位置する品川区にはJR・私鉄など14路線が走り、駅は延べ40あり、交通アクセスが充実しています。さらに、羽田空港の国際化、また将来はリニア中央新幹線の始発駅として品川駅が計画されるなど、生活都市と国際都市の両面を持つ個性的な都市として、より一層の発展が期待されています。

また区内には、205の町会・自治会があり、自主的な活動を力強く展開しています。NPOやボランティア団体による活動や企業の社会貢献活動も活発に行われ、協働によるまちづくりが進められています。100を超える商店街では、さまざまな地域ブランド品づくりや新しい趣向を凝らしたイベントを開催し、賑わいを見せています。

昭和58(1983)年度から着手した行財政改革により健全財政の確保に努め、安定的な財政基盤をもとに、独自の先駆的な施策を積極的に展開しており、平成24(2012)年の品川区世論調査でも、9割を超える区民から「これからも品川区に住み続けたい」との高い評価を得ています。

主要課題

スピードと実効性のある区政運営

社会経済情勢の変化に柔軟かつ迅速に対応するとともに、区民のく

らしと安全を守る堅実な施策展開、さらに将来を見据えた中長期的な視点にたつて、福祉やまちづくりを推進しています。また、最重点施策として、災害に強いまちづくりに取り組んでいます。

最重点課題

・防災対策の強化

木密地域不燃化10年プロジェクトの推進、建築物耐震化・不燃化の促進、地域の初期消火体制強化、津波自主避難マップ作成等

3つの緊急課題

・緊急経済対策

中小企業資金融資あっ旋(返済期間10年以内の経営安定化資金)、就業支援事業の充実(求人企業支援、若年者就職支援)、プレミアム付区内共通商品券の発行助成

・総合的な待機児童対策

認可保育所等家賃支援、私立認可保育所等開設支援、家庭的保育事業(保育ママ事業)、空き店舗を活用した地域子育て支援「子育てルーム」の開設、幼保一体施設の整備

・高齢者の住まいと安全・安心

特別養護老人ホーム等施設の整備、見守り機能を備えた高齢者住宅の支援、地域見守りネットワークの拡大、24時間対応サービスの推進



杜松小学校跡 高齢者複合施設

学校跡を特別養護老人ホームや地域活動を支える拠点として、さらには、震災時の避難所としての機能を備えるなど、だれもが安心して暮らせるまちづくりを進めます。



学校での消火訓練

区内の小中学校にD級小型防災ポンプを配備し、児童・生徒の防災意識を高め、将来の地域防災の担い手を育成しています。

将来展望

品川区基本構想と長期基本計画

平成20(2008)年4月、新たに品川区基本構想を策定し、平成21(2009)年4月にはそれに基づく長期基本計画がスタート、「輝く笑顔 住み続けたいまち しながわ」を目指し、5つの都市像の実現にむけて、全力を挙げて取り組んでいます。策定から、5年が経過し、社会経済環境の変化に対応するため、計画の中間見直しを行います。

だれもが輝くにぎわい都市

- ・町会・自治会活動の支援(町会塾、町会ホームページの作成・運営支援など)、区民芸術祭の開催、区内企業との連携促進(しながわCSR推進協議会)

未来を創る子育て・教育都市

- ・保幼小連携・「ジョイント期カリキュラム」の実施、スクールステイ事業の実施、教員の独自採用、小中一貫教育の推進、保護者による「一日保育士体験」、品川区虐待防止ネットワーク推進協議会

みんなで築く健康・福祉都市

- ・在宅介護サービスの充実、24時間対応の定期巡回・臨時対応型介護保険事業、地域福祉人材確保の支援、重症心身障害者通所事業「ビッコロ」、発達障害児の思春期サポート事業

次代につなぐ環境都市

- ・景観まちづくりの推進、太陽光発電システム等設置助成、公共施設の省エネ化、子どもたちのアイデアを活かした公園づくり、資源の再商品化

暮らしを守る安全・安心都市

- ・地域特性を活かした魅力あるまちづくり(再開発事業の推進)、地域住民が主体となった防犯対策の推進(SAP:セーフティアップパトロール隊の支援)